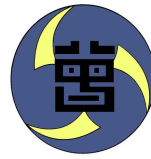


## 曾根小だより



発行：新潟市立曾根小学校

新潟市西蒲区曾根 750 (〒 959-0422)

Tel.0256-88-3128 (代) Fax.0256-88-3129

E-mail:e803daikan@city-niigata.ed.jp

特別号 (学校評価のお知らせ)

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

## 令和5年度 学校教育ビジョン評価中間報告

日頃より当校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。保護者・地域の皆様の御協力により無事、折り返しを迎えることができました。

さて、当校は、学校教育目標「ともに かがやく」のもと「主体的・対話的で深い学びをめざした授業づくり (授業改善)」「自己肯定感を育む教育活動の推進 (心の教育)」「思いやり、支え合いの態度を育む教育活動の推進 (心の教育)」「互いに尊重し合う特別支援教育の推進」「自分の生活を見つめ、よりよくしていく健康教育の推進 (健康・体力の向上)」「地域の人、物を大切に思う学習や活動防災教育の推進」の6つを重点目標として教育活動に取り組んでまいりました。この中から、授業改善、心の教育、特別支援教育の3つについて、前期の取組状況をお知らせします。

## 1 令和5年度の学校教育ビジョン評価報告 (前期)

	評価項目	達成率	評価
授業改善	① 学習課題の解決に向けて、興味・関心をもって学習に取り組んでいる。(児童アンケート No.4)	91.3%	A
	② タブレット端末を使って自分の考えを伝えたり、友だちの考えと比べながら考えたりすることができている。(児童アンケート No.3)	94.8%	A
	③ 授業で話し合った内容を取り入れて、学習の『振り返り』を書くことができている。(児童アンケート No.5)	87.7%	A
	④ 授業において、児童の気づきや疑問を基に興味・関心を喚起し、学ぶ意欲を高める学習課題を設定している。(職員評価①)	88.0%	A
	⑤ 授業において、タブレット端末を活用した意見交流や課題の解決に向けた話し合い活動など、対話的な学習活動が充実するようにした。(職員評価②)	79.5%	B
	⑥ 授業の終末での振り返りや家庭学習における「授業日記」に継続的に取り組み、学んだことを自覚させるようにした。(職員評価③)	75.6%	B
心の教育	① 友だちの気持ちを考えて、やさしい態度で接したり、温かな言葉がけをしたりしている。(児童アンケート No.9、No.10)	96.5%	A
	② 友だちのよいところを見つけ、励まし合い協力しながら生活することができている。(児童アンケート No.12、No.13)	91.3%	A
	③ 「なないろ班 (縦割り班) 活動」などで、仲良く力を合わせて活動することができている。(児童アンケート No.14)	96.5%	A
	④ 相手の話をきちんと聞くこと、「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言うことについての指導を徹底し、互いを大切にする気持ちを醸成する。(職員評価①)	88.0%	A

		家庭数配付	
	⑤ 自分たちの学級のよいところや改善すべきところについて話し合い、協働的に問題解決を図る経験をさせ、自分や自分たちの学級が成長しているという実感を味わわせる。(職員評価②)	82.0%	A
	⑥ ペア学年の合同授業や「なないろ班(縦割り班)活動」等による異学年交流の充実を図り、丁寧に活動の振り返りを行うことを通して、自他のよさや成長を認め合う機会とする。(職員評価③)	70.0%	B
特別支援	① 「曾根小スタンダード(UDLチェックリスト)」の項目の教職員達成率が80%以上になる。(UDLチェックリストで「かなりやっている」「やっている」と答えた割合)(職員評価①)	84.1%	A
	② 「個別の指導計画」に基づき、個に応じた適切な支援・配慮を行うことができている。(職員評価②)	97.0%	A
	③ 特別な支援・配慮を要する児童についての理解に努め、個に応じた指導・支援に有効に活かしている。(職員評価③)	100%	A

【評価基準】 A=80%以上 B=70%以上~80%未満 C=Bに至らない

## 2 今後の取組について

授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤については、前期は研究授業(授業を職員同士で見合い、授業改善に向けて協議する研修)の実施回数が少なく、実際の授業をもとに研修を進めたり、日々の授業改善に活かしたりすることが十分にできませんでした。後期は、主体的、対話的で深い学びのある授業を目指し、授業研究で公開された授業を基に、日々の授業改善を進めていきます。また、「曾根小話し方・聞き方スキル」を作成し、全校で取り組みます。これにより対話的な学習活動の一層の充実を目指します。</li> <li>・⑥については、「授業日記」の取組を低学年も含めた全校に広げ、児童の学びの自覚を一層進めていきます。</li> </ul>
心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑤については、教員と児童の評価に大きなズレがありました。これは、児童に学級の課題を意識させることができなかつたためと考えられます。そこで後期は「学級力プロジェクト」を導入し、学級の課題を「見える化」することで、児童が意識的に話し合えるようにしていきます。</li> <li>・⑥については前期後半から後期にかけて「たてわり遠足」や「児童会祭り」「六送会」等、異学年で活動する行事が設定されているので、めあての設定や振り返りを丁寧に行わせながら、児童の心の成長を促していきます。</li> </ul>
特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①については、今後も、全ての児童が落ち着いて学習に取り組めるよう、教室環境整備や授業形態の工夫に努めていきます。</li> <li>・②については、授業後期に向けて、引き続き「個別の指導計画」に基づいた支援・配慮を実施していきます。対象となる児童の実態に応じて、随時見直しを実施し困り感の軽減に努めていきます。また、現在「個別の指導計画」を作成していない児童でも、困り感をもっている場合があります。随時、様子を見ながら必要に応じて支援・配慮を実施していきます。</li> <li>・③については、多様性の理解や受容についての共通理解を図る職員研修を実施しました。これを活かし、困り感をもつ児童を教職員が率先して受け入れる姿を見せ、周囲の児童の理解を高めていくようにしていきます。</li> </ul>

◎ 前期学校評価の詳細なデータ(児童アンケート及び保護者アンケートの集計)は、曾根小学校のホームページにも掲載しております。あわせて御覧ください。

新潟市立曾根小学校ホームページ

<http://www.nisihikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

※ 裏面に、保護者アンケートの御意見一覧を掲載いたしました。アンケートへの御協力たいへんありがとうございました。